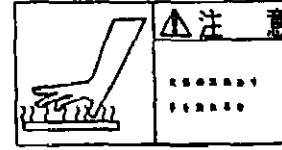


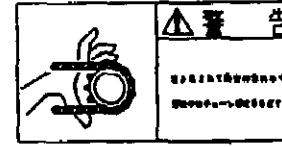
A



B



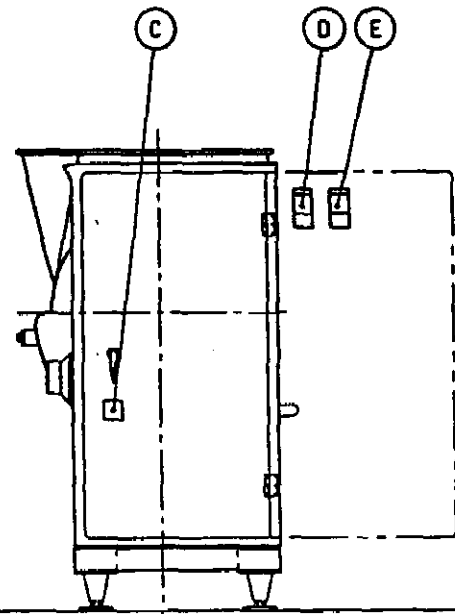
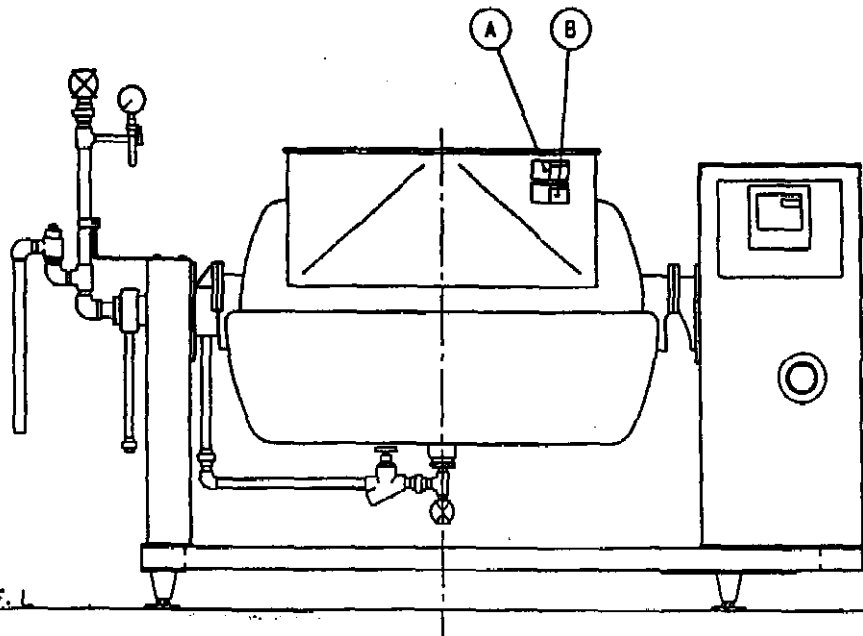
C



D



E



F.L.

品名	レオニーダー KH型
型式	KH型
図番	KPL-0058B

カジワラ

4-2-15 自動計重装置 (自動計重装置付きの場合)

ロードセル操作パネル

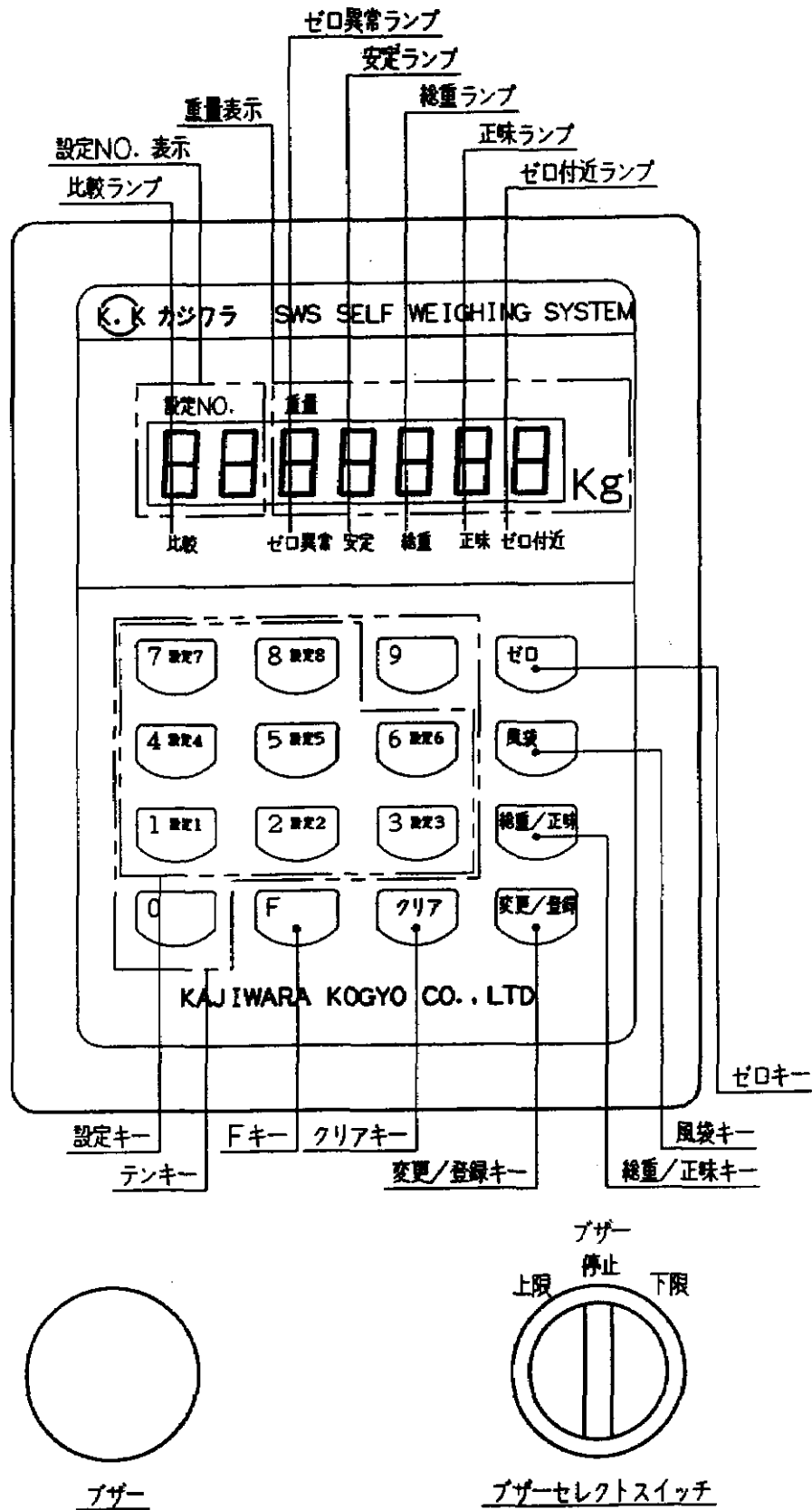


図4-9 ロードセル操作パネル

以下の手順でキー操作を行ってください。

**a ゼロ調整**

F → 変更/登録 → 3 → 変更/登録 → 1 → 登録/変更

この時、“CEL-2E”と5秒間表示され、その後“0.0”と表示されます。

続いて、F → 変更/登録 → 0 → 変更/登録

1分間経過すると自動的にゼロ表示になります。

**b 投入時の計重値設定（上限）**

F → 変更/登録 → 0 → 変更/登録

続いて、1 → 変更/登録 → 計重したい重量値を打ち込む → 変更/登録

**c 仕上がり時の計重値設定（下限）**

F → 変更/登録 → 0 → 変更/登録

続いて、2 → 変更/登録 → 仕上がり時の重量値を打ち込む → 変更/登録

**d バッチ投入・排出（風袋引き）**

総重/正味（“正味”に切り替える） → 風袋

表示はゼロになります。バッチ計重毎に風袋を押します。

缶体内部の重量は総重/正味で“総重”に切り替えてください。

**e 予備端子**

設定3～設定8まで設定のメモリーを上下限含めて8点持っています。

オプションにより、これを使い色々な自動投入及び排出の制御を自動的に組むことができます。

設定9はデジタル風袋引きメモリーで、オプションにより、キーボードによる数値入力での風袋引きができます。

d 冷却

ジャケットに冷却水を入れ、冷却を開始してください。満水になるとオーバーフローから水が出てきます。スチームトラップの前にバルブがない機械の場合には、ドレン出口からも水が出ます。

e 真空（真空仕様の場合）

真空ポンプを起動させ、缶体内圧力が下がることを確認してください。

**警告！** 蓋開閉の際は、手などをはさまないように注意してください。  
蓋にはさまれて重大な傷害を受ける恐れがあります。

f 傾動排出

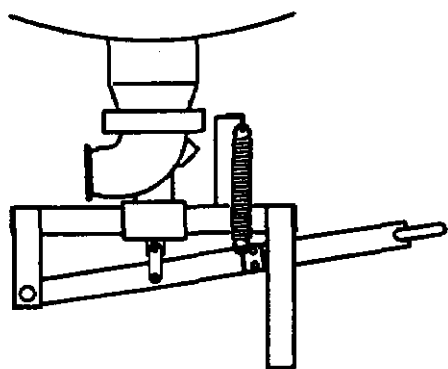
缶体を傾動して、温水を排出してください。このとき、傾動にともなう異常音や振動がないことを確認してください。

**警告！** 缶体を傾動させて原材料を排出するときは、付近に人がいないことを確認して行ってください。  
原材料が勢いよく飛び出し、やけどを負う恐れがあります。

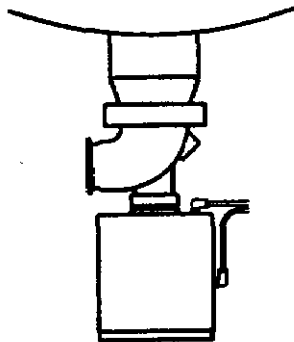
**警告！** 傾動操作中は缶体付近に近付かないでください。  
重大な傷害を受ける恐れがあります。

g 底抜き排出（底抜きバルブ付きの場合）

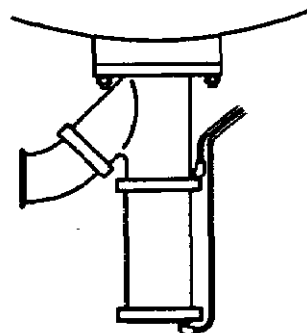
底抜きバルブを開き温水を排出してください。このときパッキンから漏れがないか、正常に動作するか確認してください。



手動タンクバルブ



オートタンクバルブ



シリンダーバルブ

図5-6 底抜バルブ